

設立趣意書

茨城県の東海第二原発は、日本初の大型原子力発電所として 1978 年に営業運転を開始しました。東日本大震災以降は稼働を停止していますが、2018 年、原子力規制委員会が 20 年の運転延長を認可しました。

再稼働にあたっては、周辺 6 市村に加え茨城県の同意が必要ですが、直近の県知事選挙や県議会議員選挙では、再稼働に対する賛否を明らかにしていない候補者が多く当選しています。

原発の存廃は、社会的にも、経済的にも、県民の生活に大きな影響を及ぼします。したがって、県が再稼働の是非を判断するにあたっては、改めて広く県民の意思を確認することが必要だと思われます。

そこで私たちは、県民同士が話し合い、それぞれの選択を表明する機会としての「県民投票」を実現させるために、本会を発足しました。

話そう、選ぼう、いばらきの未来。

県民投票条例の制定を請求する署名活動に、あなたも参加しませんか？

2019 年 3 月 いばらき原発県民投票の会